



汐平町内会防災委員会
本部長 菅井 博昭さん

まずは
安全・確実な避難
を目指しています

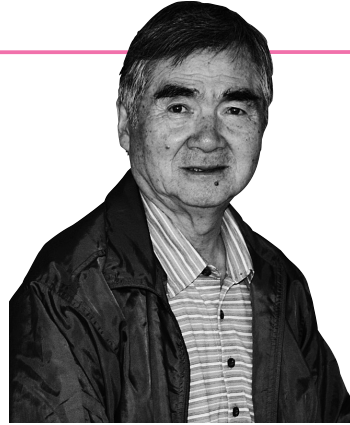
汐平町内会は、近くに富岸川があり、川のはらんや山側からの流水などでの水害、地震、海も近いので津波などの被害の可能性が考えられます。

平成8年連町防災組織の発足に併せ、町内会でも防災委員会ができました。毎年の町内会役員を情報班、避難班、救護班など5つの班に割り当てるものでした。より実働的にと考え、平成14年防災委員を独自に任期数年間として委嘱し、各メンバーが災害発生時にどう動くのかシミュレーションをしようとやってきました。だが複雑な役割分担は、かえってうまく機能しないという結論となりました。

そのため今年4月、防災委員会を再編し、町内を20~30戸の7つのブロックに分け、ブロックごとに2~4人の防災委員を置きました。これで防災委員全員同じ役割となり、共通の論議ができます。また、小さなブロックなので、より密接な連携が可能です。

防災委員は、ブロック内の状況把握と防災意識の向上に努め、災害時には救出救護を含む確実な避難の実行を目指し、避難所、避難路の確認を行います。

防災組織は、実際に機能しなければ意味がありません。今後も災害発生時の非常事態に対して、少しでも役立つ防災組織を目指していきたいです。



幌別鉄南地区自主防災組織
会長 山田 正幸さん

災害に備え、
毎年避難訓練を
行っています

自主防災組織に聞く

幌別鉄南地区は海岸線に面しており、過去に高潮などによる被害を受けています。昭和47年には高潮により海岸地域で浸水被害が、また昭和58年には大雨により岡志別川がはんらんし、幌別7・8丁目付近の民家で浸水被害がありました。

このような経験から、この地区は常日ごろから防災意識が高く、平成12年には自主防災組織を立ち上げ、8町内会が組織的に活動しています。

防災活動の中で、特に力を入れているのは避難広報の徹底です。津波や高潮などの災害は事前に把握することができます。町内会ごとに緊急連絡網をつくり、沿岸の住民には特に早急に知らせる体制づくりに力を入れています。

近年は、災害時に実際に活動できるように防災訓練を実施し、毎年約120人が参加しています。訓練では『自分たちの地域は、自分たちで守る』をスローガンに、避難誘導から初期消火、応急救命手当て、炊き出しなどの訓練を行い、最後に反省会を開き、次年度につなげています。

今後はひとり暮らしのお年寄りや体の不自由な方をどのように避難させるか、その体制を強化していく必要があると考えています。

昨年行われた幌別鉄南地域防災訓練から



▲町内会ごとの反省会



▲パトカーに先導され避難会場へ



▲消防職員による応急救命手当て講座



▲町内会ごとに子どもも参加しています



▲防災資機材を活用した避難訓練